

近畿大学病院腫瘍内科で悪性腫瘍に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院腫瘍内科（以下、当科）では、「異常遺伝子導入細胞を用いた研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で悪性腫瘍に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、遺伝子パネル検査でみつかった病的意義（つまり癌との関係性）が不明な遺伝子異常の働きやお薬への感受性に及ぼす影響について調べることを主な目的としています。そのため、当科で悪性腫瘍に対する診療を受けられた患者様のうち、過去にがん遺伝子パネル検査を受けた 18 歳以上の方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

研究では同定された遺伝子異常を培養細胞に導入し、薬剤への感受性や遺伝子の機能について調べます。樹立された細胞株は他の研究で使用される可能性があります。

ご希望があれば当院で遺伝カウンセリングを受けて頂くことも可能です。また研究の解析結果も開示できる可能性があります。

② 利用する情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、身体所見、既往歴、腫瘍の原発臓器、組織型、臨床病期、治療内容とその効果、毒性、治療期間、生存期間）
- 各種検査結果（血液検査・病理学的検査・画像検査・がん遺伝子パネル検査）

当院で保管されているカルテ・検査データを参照し、情報を取得します。

③ 利用を開始する予定日

近畿大学医学部長の許可日（2026 年 02 月 10 日）より開始します

④ 利用する者の範囲

研究責任者：米阪 仁雄（近畿大学医学部腫瘍内科）

研究分担者：土肥 和佳（近畿大学医学部腫瘍内科）

寺村 岳士（近畿大学高度先端総合医療センター 再生医療部）

坂井 和子（近畿大学医学部ゲノム生物学教室）

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、利用開始日より6年間が経過した時点以降にお申し出いただいても利用を停止することはできませんので、ご了承ください。

⑦ 研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院腫瘍内科 米阪仁雄

電話：072-288-7222（内線：2046） FAX：072-298-1500

以上